

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

帰任医師あいさつ



こんにちは。初期研修からの6年間を沖縄協同病院で勤務したのち昨年までの5年間、福岡県の小倉記念病院で不整脈治療を専門に行いこのたび帰任しました。

不整脈とは心臓の脈が乱れる病気の総称で、様々な種類があります。そのなかには動悸等の発作がでるだけでなく、脳梗塞や心不全の原因となるものや、生命に直結したりする極めて重篤なものもあります。しかし、これらの不整脈はきちんと診断し治療介入することでリスクを軽減、回避できるものです。不整脈で苦しむ患者さんに少しでも貢献できればと考えております。

最近動悸がする、脈が飛ぶ感じがする、ふらふらする、息切れがするなどの症状は不整脈が原因かもしれません。一度、医療機関での相談をお勧めします。当院では不整脈専門外来を新設しておりますので、不整脈と診断されたり、不整脈が疑われる方は遠慮なく当院までご相談いただけましたら幸いです。

部署長就任あいさつ



皆さんこんにちは。このたびリハビリ室の室長になりました松原勝也と申します。

私は入職後、急性期、回復期、通所リハビリ、訪問リハビリの経験後、2012年より再び沖縄協同病院に戻ってきました。様々な分野で

学んだ経験と暖かいサポートを受けながらこれからのリハビリ室や沖縄協同病院の発展に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

循環器内科外来体制表

完全紹介制
《診療開始時間・受付終了時間》14:00~15:30

月	火	水	木	金	土
澤紙 秀太	佐土原 洋平 (不整脈専門外来)	山内 昌喜	中村 隼人	伊良波 禎	—

土曜日一般診療の閉診に伴う 救急診療体制への変更について (2024年7月から)

土曜日救急診療体制 2024年7月6日(土)以降

日頃より当院をご利用頂きありがとうございます。医師の働き方改革などの法整備が進められ、当院の外来診療についても運用の変更が求められています。沖縄協同病院の土曜日診療体制は今後は救急診療体制(時間外診療)へ変更することになりました。土曜日に行っていた各診療科は移動となります。なお、初診内科は閉診となりますことをご了承ください。※詳細はホームページをご確認ください。

病院の活動状況 <2024年4月度>

- ・外来一日平均患者数：316人 (前年同月比 +34人)
- ・入院一日平均患者数：263人 (前年同月比 +19人)
- ・組合員利用分量(率)：59.7% (前年同月比 +0.8%)

睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome)について

呼吸器内科より



就寝中にご家族やお友達からいびきがある、呼吸が止まっていると言われたことはありませんか。もし言われたことがあるならば、それは睡眠時無呼吸症候群(SAS)かもしれませんのでかかりつけ医や専門の病院・クリニックへご相談しましょう。

SASは睡眠中に空気の通り道(気道)が塞がる、または狭くなることにより起こる病気です。それでは、なぜ気道が狭くなるのでしょうか。健康人であっても仰向けで寝ると重力によって舌や軟口蓋が気道を狭くしてしまいます。また睡眠という状態では、筋の緊張も緩んでしまいます。①筋力の低下(加齢)②舌が重くなる(肥満)③顎が後退している(小顎、扁桃腺肥大、軟口蓋が長い)④口呼吸になっていると舌は落ち込みやすいという点で起こりやすくなります。ほとんどが口腔内の形態的問題で、多くは肥満の方がなりやすいですが、痩せている方も起こります。これを閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)と言います。

自覚症状としては、寝ている時に寝汗をかく、寝相が悪い、何度もしねて起きる(夜間頻尿)、起床時の頭重感・倦怠感、日中の眠気(たくさん寝ているはずなのにそれでも体がだるかったり、寝たりない感じ)はありませんか。

診断には終夜ポリソムノグラフィ(PSG)検査を行わないといけません。外来でできる簡易型PSG検査(スクリーニング)、または1泊入院でのPSG検査(精査)があります。この検査によって重症度判定を行います。重症度にはAHI(Apnea Hypopnea Index)が用いられ、一晩の睡眠を通して、1時間当たりの無呼吸(10秒以上の呼吸停止)・低呼吸(呼吸が浅くなる)の頻度をもとにして診断します。AHIは5~15回が軽症、15~30回が中等症、30回以上が重症となります。

治療としては、AHIが20回以上であればCPAP(持続陽圧呼吸療法)の適応となり定期的に外来通院管理が必要となります。20回以下の軽症~中等症であればスリープセント(マウスピース)を歯科で作成治療をしたり、横向きで寝て無呼吸を回避させたりなどの指導を行う事になります。また、気道閉塞の原因がアデノイド肥大や扁桃腺肥大であれば手術により取り除くことがあります。

この状態を放置すると将来的に高血圧、糖尿病、心不全、心血管障害、不整脈、脳梗塞、認知障害、夜間突然死などの重大な病気を引き起こす要因になります。

気になる方は躊躇せずに気軽にスタッフに相談をしてください。

内科部長(呼吸器) 城間 政尚



むし歯予防 ~ダラダラ食いを止めましょう~



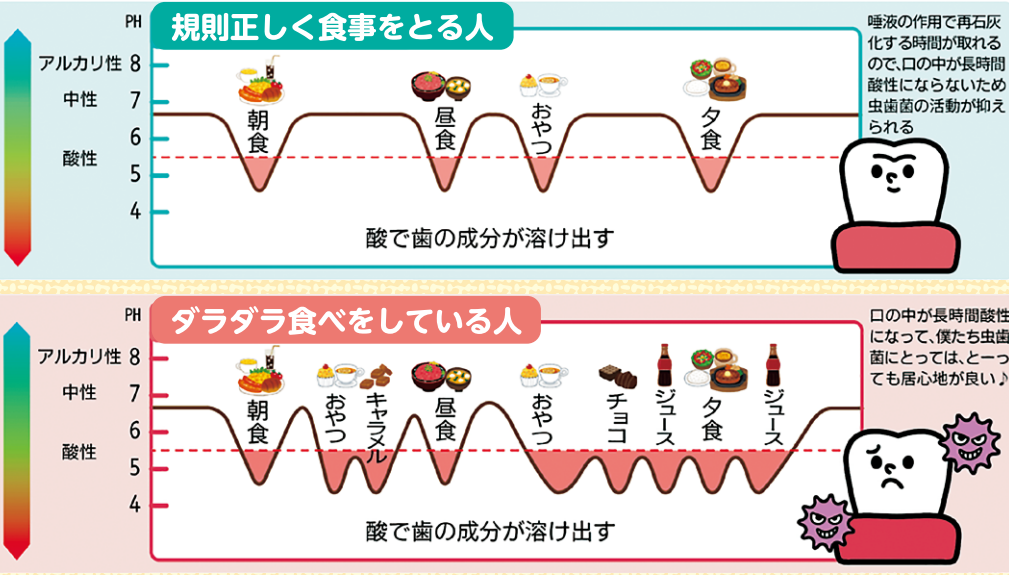
むし歯予防といえば、歯磨き、フッ素洗口、フッ素塗布が思い浮かぶ方が多いと思いますが、「何を」「どう食べるか」も、とても大切です。

私たちのお口は、食べたり、飲んだりすると唾液が酸性に傾き、むし歯になりやすいお口の状態になります。

むし歯になりやすい食べ物は、歯にくっつきやすいチョコレートやキャラメル。歯の隅々まで行きわたる、ジュース類(スポーツドリンク)。口のなかに長時間残る、あめ玉。スナック菓子も歯にくっつきやすく、ついつい、食べてしまうので注意が必要です。

歯を守るためにも、だらだら食いににならないよう、規則正しい食生活を送りましょう。

リハビリ室 歯科衛生士 仲程 尚子



梅雨〜潤いをもたらす季節〜
今月の1枚



「ご意見」
入院時は不安が大きいです。色々な役職の方々を顔を出してください、ひとりぼっちじゃない感じが嬉しかったです。

病院の方針でしたらすみません。スタッフの方の患者に対するタメ口がとても気になります。フレンドリーに接しているとしたら、やはり丁寧語で親しみを込めた対応をお願いしたいです。(老人施設でも同様な感情を抱いてしまいます)タメ口=フレンドリーでは無いと思います。大袈裟ですが『呼びすてから虐待が始まる』とも言われています。

患者とのやりとりは、内容がデリケートな部分に関して小さな声をお願いしたいです。耳の遠い方へは、また別だと思っております。

▶ 部署 紹介

②⑥ 診療情報管理室

はじめまして!! 診療情報管理室です。
診療情報管理室には、診療情報管理士と医師事務作業補助者という事務の専門職が在籍しています。業務は多岐に渡りますが、今回はメイン業務をご紹介します。
診療情報管理士は、カルテの管理・点検・運用を担当する専門職です。病名や医療行為から、「ICD」と呼ばれる世界共通のルールに沿って疾病をコード化する「ICDコーディング」という業務を担っています。
医師事務作業補助者は、医師専属の事務です。外来や病棟でのカルテの代行入力や、紹介状・診断書等の書類作成、手術症例をデータベースに登録する業務を行っています。
普段は直接患者さんと接する機会は少ないのですが、沖縄協同病院の裏方(縁の下)の力持ち)とおぼえていてくれると嬉しいです。



診療情報管理室 室長 照屋 愛

委員会活動報告 25! 院内教育委員会

院内教育委員会では、職員に関する研修会の立案運営を行っています。毎年、接遇に関する研修を開催し、2023年度からは役職者研修を毎月、開催しています。医局長の佐久田医師を中心に案を出し合い、実際に職員に届く研修を目指して会議で頭を悩ませています。職員一人一人が成長することで、患者さんへ良い医療を届けることができると信じて、委員会職員一同、院内教育に力を注いでいきます。



事務管理部 事務次長 入月 美保子



大量発生の原因として、カメムシは寒さに弱く今までは少数しか越冬できなかったがここ数年は春先の気温が高く多くが越冬したためだという。もともと南方系の昆虫だったのが温暖化で一気に北上し、青森でも確認されているという。梨、桃、柿等の果汁を吸って変色、変形、臭いをつけて商品価値をなくすので果物の産地での被害は甚大になる。
今年2月に高温が続いたせいでトマトの収穫が前倒しになったために収穫終了も1カ月以上早くなった。8年間トマト栽培をしているが初めての経験だ。収量も例年の7割にとどまった。
ここ数年、野菜の高騰が続いている。今年も5月に入ってキャベツとブロッコリーが2倍に跳ね上がった。一因はやはり全国的な暖冬で収穫が前倒しになり、春出荷が品薄になったことと高温による病害虫の発生で廃棄ロスが増えたことだという。
カメムシは害虫だが、大量発生の原因は気候変動を引き起こした人間である。これからも自然からのしっぺ返しに耐える日々は続く...

ハルサー 金城 稲子

ハルサー だより ㊞

カメムシ

去年から全国でカメムシが大量発生し、今年30都府県で「カメムシ注意報」が出された。過去10年で最多だという。幸い沖縄は含まれていないが、増えたような気がする。写真はミズレモンの実が付いていたカメムシだ。手で触れるとパクチャーに似た独特の臭いを発するので水を張った容器に落とすとして捕獲する。今の時期、防除しなければトマト、ナス、ピーマン等にビッシリ付く。今年は後半に入ってミニトマトがすべて被害にあった。写真はカメムシに吸汁されたミニトマト。白く点々とした痕があり売り物にならない。大量発生したらお手上げた。カメムシはハーブのミントが苦手なので家庭菜園なら周囲に植えるのも一策である。